

かさまつ

青少年育成町民会議だより

はじめてみませんか…

地域のふれあい!



長池北町内会 イモ掘り

今日は、ちよつと秋の気配が深まった絶好の「芋掘りの日」です。子どもたちは、地域のおじいちゃんおばあちゃんに、「ひとつひとつ傷をつけないように、丁寧に掘りましょうね」と教わった後、待ちに待った芋掘りをはじめました。「わあ、でっかいぞう。」「これ面白い形や。」「畑のあちらこちらで、大きな歓声があがりました。ミミズや幼虫、へびにも遭遇してびっくり。それでも汗をにじませながら土にふれ、自然の作物と向かい合う姿は、「心と体で直接学ぶ貴重な体験」だと思えます。お父さんお母さん方も、童心に帰ってニコニコ顔でした。きつと各家庭では、収穫したお芋を食べながら、楽しい会話が弾んだことでしょう。土を掘ると宝物が出てきたような感動。ここまで手入れし、育てていただいた地域の皆さんへの感謝の気持ち。長池北町内会の三世代が触れ合う姿に感動した素晴らしい一日でした。

家庭部会

二分の一成人式

～親から子へ・子から親への手紙～



▲「二分の一成人式」の冊子

家庭部会では、親子の絆を深め合う取り組みとして、今年も10歳を迎える児童とその親が互いに手紙を送りあう「二分の一成人式」を行いました。

思いがけないたくさんの賛同と心温まる手紙が寄せられましたのでその一部を紹介します。

親から子へ

「こんなお母さんの所によく来たね」とあなたに話すと「このお父さんとお母さんがいいとえらんで生まれてきたよ」と話してくれます。ありがとうね。

あなたが生まれた時、小さな小さな赤ちゃんでした。

2137gでほかの一緒に生れた赤ちゃんよりひとまわり小さな子でした。初めてだっこした時、お母さんはこれから育てていけるか不安で手がふるえたことを思い出します。その時私も新米のお母さん、この子と一緒にゆっくり育てていこうと思いました。

10年たったお母さんはあなたと成長できたかしらね。これからもあなたを見守り続けますね。

子から親へ

お母さん、いつも見守ってくれてありがとう。わたしは、お母さんのやさしいところが大好きなので、わたしもお母さんみたいなやさしい人になりたいです。

お父さんは、仕事でいつも帰りがおそくて夜はなかなか会えません。お父さんが早く帰ってくるとほっとします。わたしもそんなそんざいになりたいです。



▲製本作業風景

三世代ふれあいの活動

地域活動部会

地域活動部会では、青少年の健全育成や地域の活性化を推進するために、町内育成員を中心に特色ある活動を通して、子どもからお年寄りまでがともに交流する三世代ふれあい活動を進めています。



▲宮川町「三世代交流もちつき大会」



▲江川「ふれあいスポーツ大会」

少年の主張大会

中央公民館
H.20.6.22

青少年教育部会

(敬称略)

優秀賞 小学生



加藤 有倭香 波多野 真基 島袋 真弥
安藤 大貴 棚橋 愛 松原 香菜

最優秀賞



今井 彩絵

優秀賞 中学生



福島 嵩人 後藤 伸也 度會 由貴

最優秀賞



長谷部 成美

非行対策部会 街頭啓発活動

青少年にやさしい環境を

7月6日(日) 青少年非行防止活動として「笠松駅」「本町通り」「トミダヤ(長池)」「ユースストア(米野)」にてティッシュや花の苗を配りました。



▲公民館前にて出発式



▲配布用花のセットは岐阜工生徒たちの協力



▲笠松駅での啓発活動

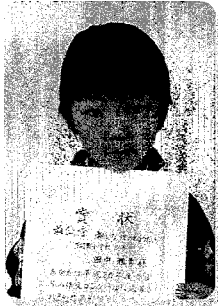


▲ユースストア(米野)での啓発活動

青少年の作文 テーマ「家庭・学校・地域」

町の審査結果で、下記のとおり選ばれました。おめでとうございます。(敬称略)

最優秀賞



下羽栗小3年
田中 雅貴



笠松小5年
廣瀬 文香



笠松中2年
赤塚 幸美

優秀賞

松枝小 2年 梅村 来夏

笠松小 1年 尾藤 達宙

松枝小 5年 山田 将生

下羽栗小 6年 加藤千紗貴

笠松中 1年 道塚 愛実

青少年健全育成講演会を開催しました

テーマ『次代を担う青少年』

講師 岐阜市青少年育成推進指導員

田中 清文氏

日時 平成20年11月25日(火)

青少年を地域での活動に主体的に取り組ませておられる体験談をお聞きし、我々の関わり方学ばせていただきました。



編集後記

「恩おくり」この言葉を久しぶりに聞いた時、思いやり・優しさの原点は、そこにあることを改めて感じました。自分が受けた恩恵を同じような思いで他の人に贈る。この繰り返し。素直な心で、良い事、優れた事を称えて切磋琢磨することは心の成長に栄養を与えます。心の起点は、一番小さな社会、家庭の中にあるのではないのでしょうか。子ども達の笑顔は私たち大人の喜びでもあり、至福の時です。

三つの間(時間・空間・仲間)を大切に、次代を担う子ども達と接していく事を心掛けようと思います。そして今、伝えておきたいのは、「こころ」人の道(郷徳)です。これは三世代を要して伝えてこそ充実したものになるでしょう。

キング牧師のメッセージに「私たちは鳥のように空を飛び、魚のように海を泳ぐことが出来る。しかし兄弟のごとく共に大地を歩む簡単なことがまだ学べずにいる。」心の成長こそが人を逞しくすることであり、それは仲間、人との関わりから学ぶものです。地域・家庭、或るいは学校での役割もあるでしょう。子ども達の心の成長こそが地域の宝です。その活動の波紋が広がり、多くの人との関わりを大切にしたいと思いません。

(昌)